

3M™ ステリストリップ™ スキンクローザー

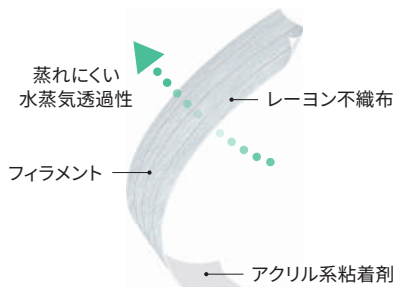
適切な粘着性と強度で創閉鎖をサポートする
皮膚接合用テープ

単独での使用はもちろん、縫合糸やステイプラーとの併用や
早期抜糸・抜針後の固定など、さまざまなシーンの創閉鎖に使用できます。



適切な粘着性と強度

適切な粘着性とフィラメントで補強（強化）することにより、創閉鎖をサポートします。
水蒸気透過性があり、蒸れにくいです。



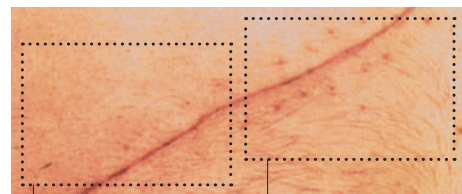
処置時間を短縮

3M™ ステリストリップ™ スキンクローザーを使用することで、縫合に比べて処置にかかる時間を短縮できます。¹



きれいな傷跡

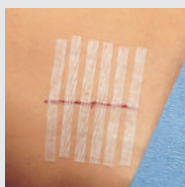
浅く緊張のない創は縫合糸やステイプラーで縫合した後に早期抜糸・抜鉤（抜鉤）することにより、スーチャーマークや刺入痕が残りにくいと言われています。²



術後3日で抜糸、4日目以降 スキンクローザーで固定 術後7日で抜糸、 スキンクローザー不使用

※ 術後 一か月の一例写真であり、本品の使用によりきれいな創跡を保証するものではありません。

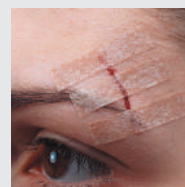
主な用途例



手術創の閉鎖、
接合又は補強に



抜糸・抜針後の
創閉鎖、接合又は
補強に



小外傷の閉鎖、
接合又は補強に

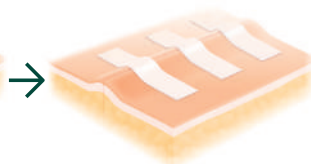
貼り方

①



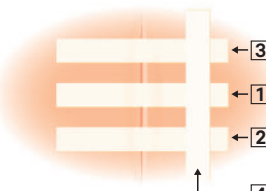
外反を保持したまま
創中央から貼付します

②



- ① 創に対して直角の向きで本品を貼付してください。皮膚に過度の緊張がかからないように注意してください。
- ② 創が長い場合には、3mm程度の隙間をあけて平行に本品を貼付してください。

創にかかる緊張を緩和したい場合



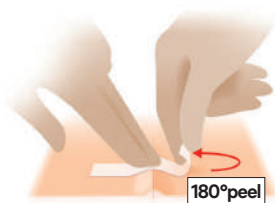
③ 創中央から上下順番に貼付する。

①

②

④ 特に緊張のかかる部位には創に平行してはしご状に貼ります。

剥がし方



テープの端から、創の方向に

- ・基本的には意図的に剥がさず自然に剥がれるまで待ちます。
- ・意図的に剥がす場合には、皮膚を押さえながら、テープの端から創の方向にゆっくりと創の手前まで剥がしてください。
- ・創のところが剥がす時は、創が開かないように、十分に注意しながら、優しくゆっくりと持ち上げるように剥がしてください。

3M™ ステリストリップ™ スタンダード スキנקローザー

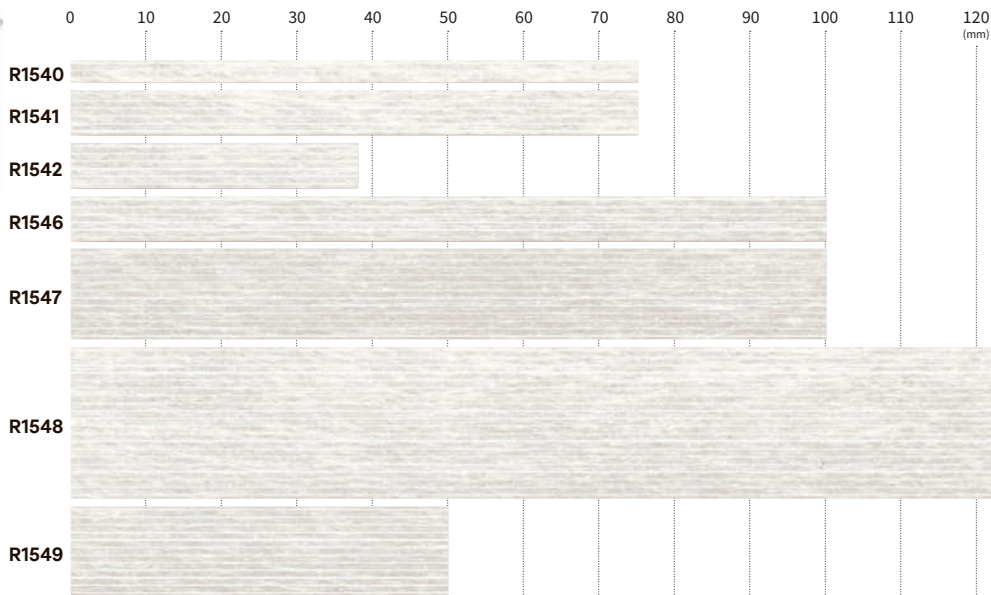
レーヨン不織布テープにフィラメントで補強(強化)したスタンダードタイプです。

7種類のサイズを揃えました。

ガンマ線滅菌

製品番号	テープ巾×全長	入り数	
		本/袋	袋/箱
R1540	3mm×75mm	5	50
R1541	6mm×75mm	3	
R1542	6mm×38mm	6	
R1546	6mm×100mm	10	
R1547	12mm×100mm	6	
R1548	25mm×125mm	4	25
R1549	12mm×50mm	6	50

一般医療機器:皮膚接合用テープ 届出番号:13B1X10422000138
販売名:ステリストリップ
使用目的又は効果:皮膚創部の閉鎖、接合又は補強等に使用する。



3M™ ステリストリップ™ スキントーン スキנקローザー

皮膚に貼っても目立ちにくい肌色の不織布(スキントーン)タイプです。

ガンマ線滅菌

製品番号	テープ巾×全長	入り数	
		本/袋	袋/箱
B1551	6mm×75mm	5	50
B1557	12mm×100mm	6	

一般医療機器:皮膚接合用テープ 届出番号:13B1X10422000138
販売名:ステリストリップ
使用目的又は効果:皮膚創部の閉鎖、接合又は補強等に使用する。



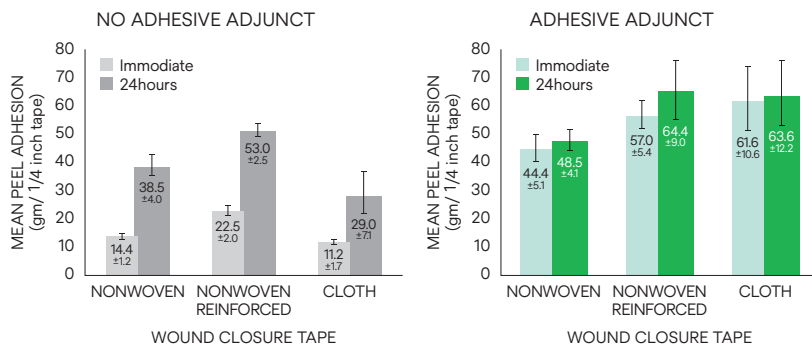
粘着力をより強化したいときに

3M™ ステリストリップ™ コンパンドベンゾインチンクチャー

皮膚に粘着製品を貼る際に、あらかじめ3M™ ステリストリップ™ コンパンドベンゾインチンクチャーを塗布すると、粘着力が強化されます。消毒用エタノールをつけると剥がしやすくなります。

ベンゾインチンクチャーを塗布しないときの剥離力(初期時と24時間後)

ベンゾインチンクチャーを塗布したときの剥離力(初期時と24時間後)



引用文献³



火気厳禁 EOG滅菌

製品番号	容量/形状	入り数	
		本/包	包/箱
C1544	0.6mL/バイアル	1	40

参考文献

※1 Traub AC, Quattlebaum FW: Cutaneous Wound Closure: Early Staple Removal and Replacement by Skin Tapes. Contemp Surg 1981; 18:June.
※2 Conolly BW, Hunt TK, Zederfeldt BZ, Caerata HT, Dunphy JE: Clinical Comparison of Surgical Wounds Closed by Sutures and Adhesive Tapes. Amer Jnl of Surgery 1969; 117:318-321.
※3 Edlich RF, Rodeheaver G, et al: Technique of Closure: Contaminated Wounds. J Am Coll, Emer Phys 1974; 3:375-381.

Solventumおよびそのロゴ、その製品名等に使用される商標は Solventum 及びその関連会社の商標です。3Mおよびそのロゴは3Mおよびその関連会社の商標です。その他の商標はそれぞれの権利者の商標です。

ソルベンタム合同会社
メディカルサージカル事業部

<https://www.solventum.com/ja-jp/home/>

スリーエムヘルスケアジャパン合同会社はソルベンタム合同会社に社名変更しました。

Please Recycle. Printed in Japan.
© Solventum 2025. All Rights Reserved.
HPM-533-G(0325)

カスタマーコールセンター
製品のお問い合わせはナビダイヤルで
0570-000-470
9:00~17:00/月~金(土日祝年末年始は除く)